

原稿・草稿、ノート、映画シナリオ —
巨匠・横溝正史が残した珠玉のコレクション

オンライン版
二松学舎大学所蔵

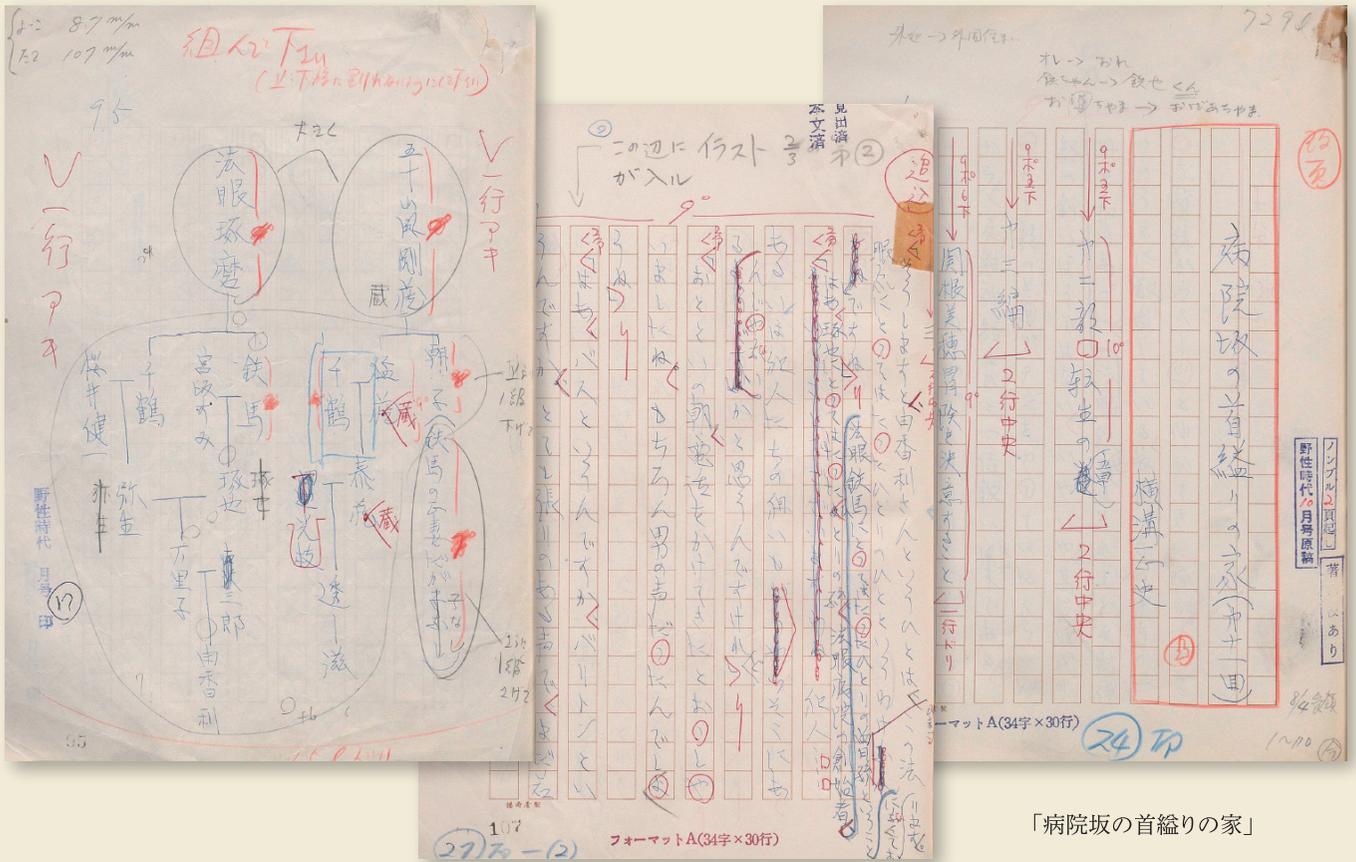
横溝正史旧蔵資料



丸善雄松堂株式会社

完成原稿

「病院坂の首絵りの家」「悪霊島」「迷路荘の惨劇」「楽しかりし桜の日々」「上海氏の蒐集品」の製本された完成原稿（14冊、約6,700枚）。イラストの位置や文字の大きさなどの指示の跡も見てとれる。



「病院坂の首絵りの家」



「迷路荘の惨劇」

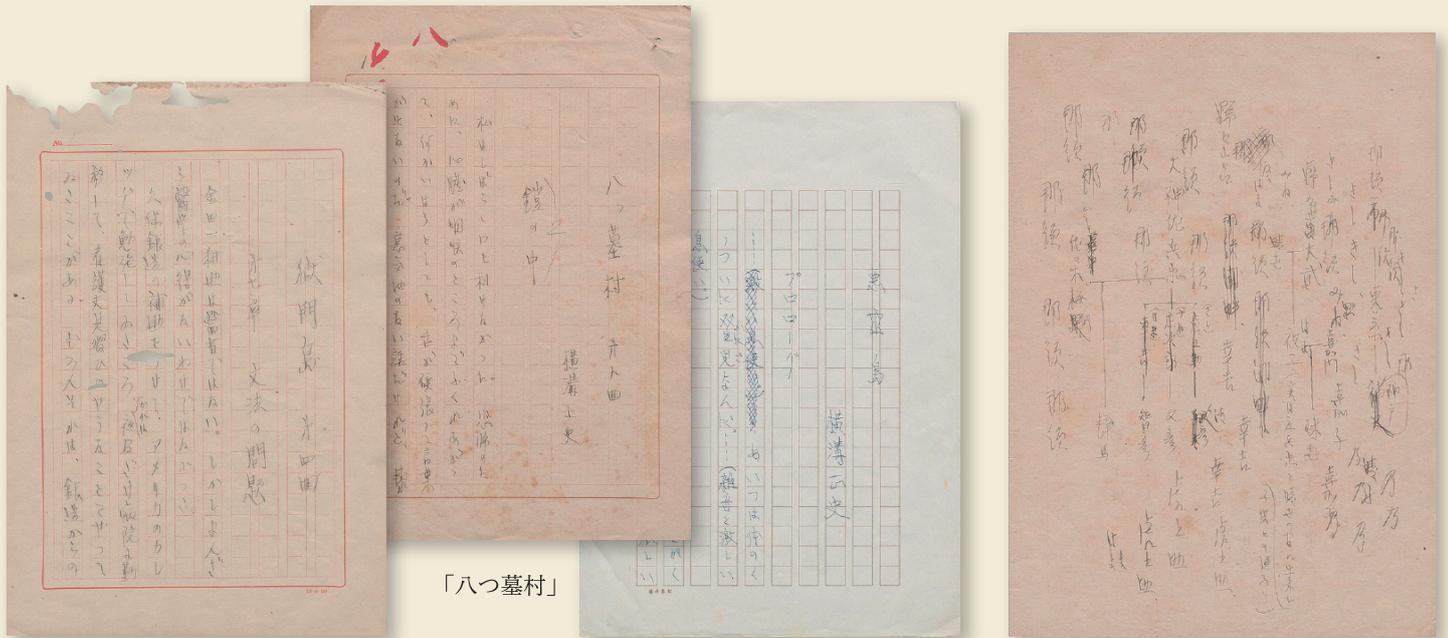


作家の創作現場に迫る 1万4千枚を超える白筆資料

原稿・草稿

1930年代から1970年代まで、ジャンルを超えた7,600枚以上の原稿・草稿を収録。横溝は原稿用紙を大切に扱っていたため、原稿用紙の裏面にメモや他の作品の下書きが書かれていることも多い。裏書きがある場合は表と裏の対応がわかるようにし、原資料を手にするように閲覧できる。

金田一耕助シリーズ



「獄門島」

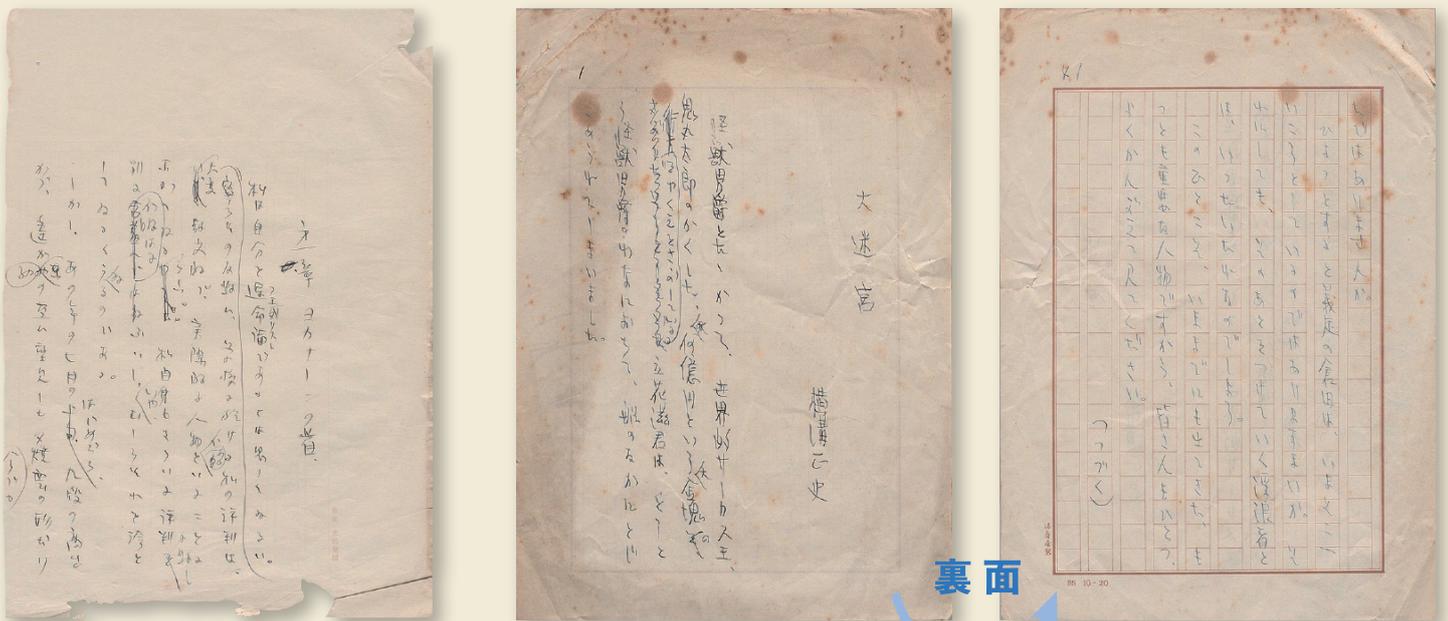
「八つ墓村」

「悪霊島」

「犬神家の一族」の裏面に
書かれた人物関係図

由利・三津木シリーズ

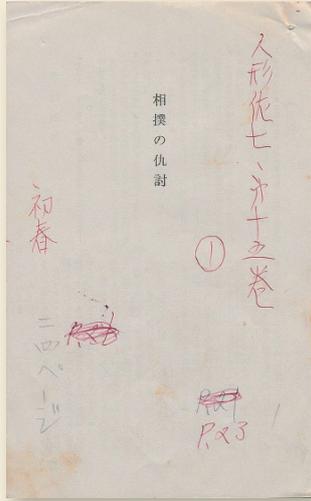
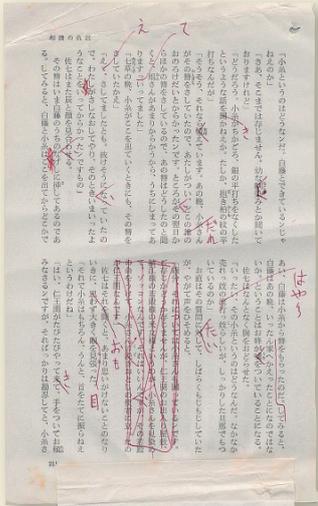
ジュブナイル



「真珠郎」

「大迷宮」

「黄金の指紋 (皇帝の燭台)」



「相撲の仇討」

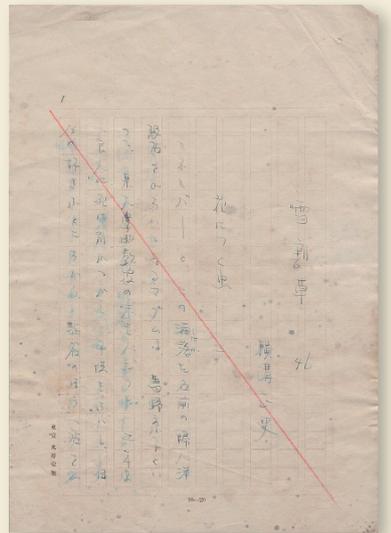


「風雲ゼンダ城」

現代小説



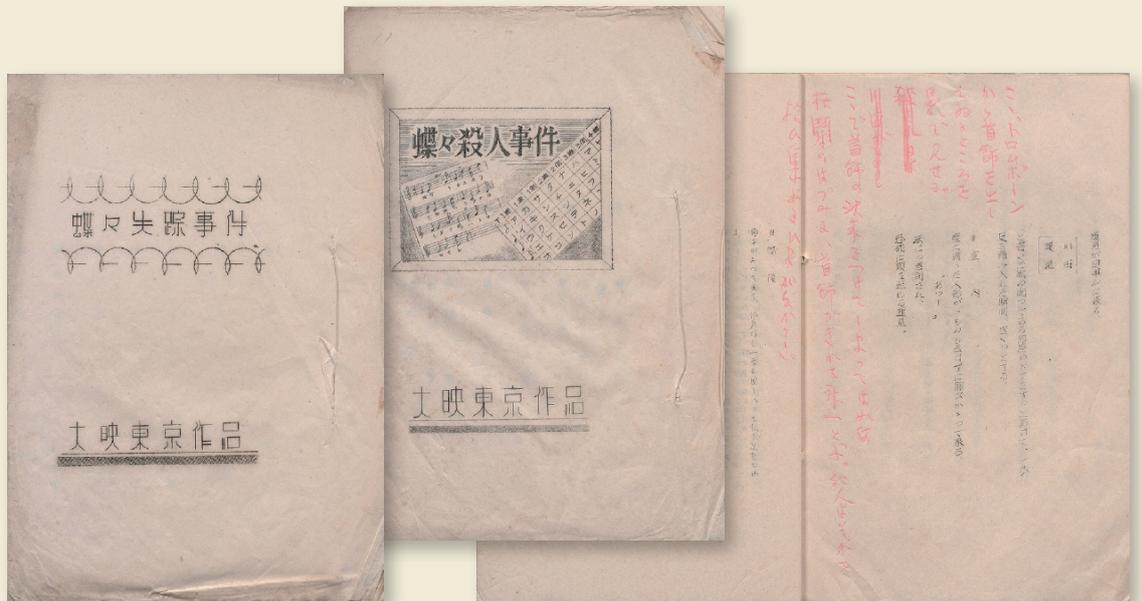
「空蟬処女」



「雪割草」

シナリオ

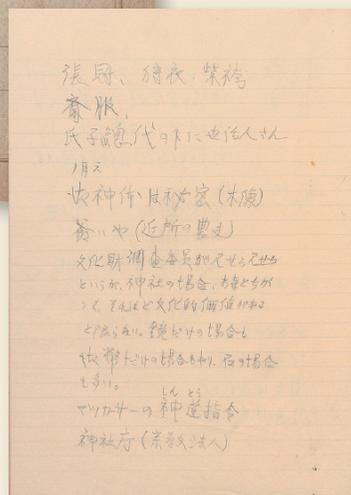
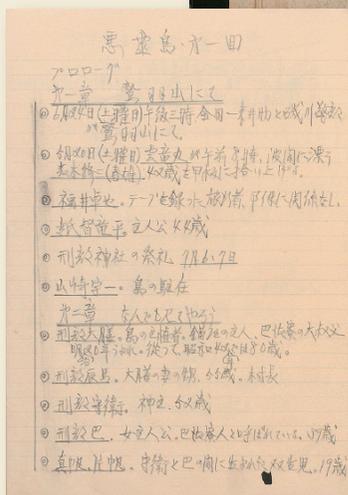
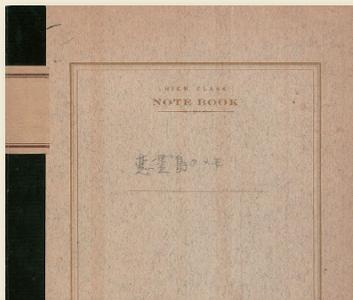
占領下の映画シナリオ「蝶々殺人事件」「蝶々失踪事件」を収録。映像化にあたって横溝本人も書き込みを残しており、貴重。



「蝶々失踪事件」 / 「蝶々殺人事件」〔高岩肇脚色 横溝正史原作 江戸川乱歩構成補導〕

ノート

「悪霊島」に関するノート2冊を収録。取材時のメモや、章立てなどが書き込まれている。



「悪霊島のメモ」

切り抜き

本人が加筆修正を施した雑誌・単行本切り抜き 30点を収録。



「くろしお秘帖」（「しらぬ火秘帖」に改題）

推薦のこぼ

横溝研究は、これからだ

成蹊大学教授 浜田雄介

この資料集は、ただちに横溝正史の熱烈なファンや在野の研究者に開かれたものではない。繊細な扱いを要する資料のために学術機関への限定公開という方法が採られるのだが、大衆的な人気のある横溝の場合は悔しい思いをする人もいるだろう。それを思えば、大学など学術機関の学生や研究者には、いっそう正しく資料を活かすことが求められるかもしれない。

今日、卒業論文で探偵小説作家や作品を扱う学生は多く、関連論考は学術誌にもしばしば掲載される。探偵小説を扱うアカデミズムは諸領域に及ぶが、その中心はやはり人文学であろう。すなわち人間に関する学問である。探偵小説はその人間の認識を更新したジャンルだが、ことに横溝は、作家としての人間性においても決定的に新しかった。

新しさとはつまり時代との共振だが、実に横溝は、大正末には雑誌『新青年』を編集してモダニズムの花を咲かせ、文芸復興期には浪漫的な芸術性を追究、戦時には捕物帳を書き継ぎ、戦後は「さあ、これか

らだ！」と本格探偵小説の新時代を切り開いた。やがて晩年には映像メディアにも関わり大衆消費社会に活躍するアイドル老作家となる。

だから横溝をたどることは時代をたどることなのだが、本資料集には、戦中から書き継がれた捕物帳シリーズや戦後の探偵小説傑作群、また時代を隔てて完成を迎える作品の草稿や最晩年の創作ノートが含まれている。それぞれの時代に選ばれた言葉と選ばれなかった言葉との対峙が、私たちに何を見せてくれるか楽しみでならない。

そして同時に、その文字を追う時の気持ちも想像する。時代を牽引した作家であっても、書くという行為はやはり孤独な時間を過ごすことだったはずで、自筆資料を読むとは、その孤独に触れることでもあろう。J-DACでは今後も探偵作家、近代作家の自筆資料紹介を進めるといふ。デジタル・ヒューマンティとは、案外、人間の孤独と向きあう学問になってゆくのもかもしれない。

オンライン版

二松学舎大学所蔵

横溝正史旧蔵資料

解題：山口直孝（二松学舎大学教授）

価格 ¥ 300,000 (税別)

プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター

完全買切型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）

<1ヶ月の無料トライアル受付中、お申し込みは kenkyushien@maruzen.co.jp まで>（お申し込みは学術機関に限ります）

横溝正史（1902～1981）が残した膨大な自筆資料等を収録するデータベース。二松学舎大学が所蔵する原稿・草稿、創作ノート・メモ、映画化された作品のシナリオ、本人が加筆修正を施した雑誌・単行本切り抜き等で構成された一大コレクションを横断的に利用できる。

中核をなす原稿・草稿類は、1万4千枚を超える。「八つ墓村」「犬神家の一族」など金田一耕助シリーズ代表作をはじめ、生前未発表だった「霧の夜の出来事」、新たに発見され話題となった「仮面舞踏会」、今まであまり知られていなかった戦時下の作品なども含まれる。「悪霊島」「病院坂の首縊りの家」「迷路荘の惨劇」等は完成原稿も収録。1930～70年代まで、ジャンルを超えた作品で構成されている。また、「悪霊島」取材ノートや「犬神家の一族」創作メモ等、作品の生成過程を辿るうえで欠かせない原資料もあわせて搭載。映画シナリオは、江戸川乱歩も構成補導を行った占領下の作品2冊を収録。映像化にあたって横溝本人も書き込みを残しており、映画・映像研究の資料としても価値が高い。

探偵小説・時代物・少年少女向けのジュブナイル等の幅広いジャンルを手掛け、今なお繰り返しの映画化・ドラマ化され親しまれている横溝文芸を知るうえで必備の資料であることはもちろん、近代文学、映画・映像、メディア、出版文化史の分野においても比類なき珠玉のコレクションである。

J-DAC「近代文学作家自筆資料集」に搭載し、他の近代文学作家の自筆資料との横断検索も可能。



J-DAC「近代文学作家自筆資料集」で横断検索が可能

オンライン版 虚子記念文学館所蔵 近代文学作家自筆資料集 価格 ¥ 300,000 (税別)

虚子記念文学館所蔵の明治～戦前期までの資料を対象とし、高浜虚子、夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介、正岡子規、佐藤春夫など、日本の近代文学を牽引した60名以上の作家の自筆資料約450点を収録。